

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

急性期患者における血清セレン濃度低下の実態調査
1. 研究の対象および研究対象期間 2021年4月1日から2025年3月31日までに昭和大学病院にて血清セレン濃度を測定した患者さん
2. 研究目的・方法 セレンは必須微量元素のひとつであり、25種類のたんぱく質に含まれます。セレンはヒトが生理機能を維持する上で重要な微量元素とされています。その役割は、大半がセレノプロテインによるものと考えられており、セレノプロテインの持つ強い抗酸化作用が生体内防御に利用されているという見解が多数みられます。また、いくつかの研究ではセレンの欠乏が全身性炎症反応症候群および敗血症と関連していることが報告されています。特に、敗血症の病態ではセレノプロテインの1つであるセレノプロテインPの生合成能とセレノプロテインP自体の濃度が低下し、血清セレン濃度の低下を引き起こす可能性も考えられています。一見すると、セレンが体内で不足する患者さんには、セレンを補充すれば良いと考えますが、セレンは過剰症のリスクもあるため、血中のセレン濃度が低いすべての患者さんに対してセレンを補充することは危険であると考えられています。 本研究では、今後低セレン血症に関する適切な評価を行っていくために、昭和大学病院における急性期患者さんの中で血清セレン濃度を測定した患者さんの実態調査を行います。 なお、この研究は講座研究費を用いて行う研究であり、企業との利益相反はございません。
3. 研究期間 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者背景(年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、入院時主病名、食事形態、血圧、脈拍、WBC、TLC、RBC、Plt、Hb、Ht、Alb、CRP、Se、Zn、BUN、Cre、eGFR、AST、ALT、T-Bil、BNP、CONUTスコア、APACHEスコア)
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません

6 . 研究組織

研究責任者 昭和大学薬学部臨床薬学講座臨床栄養代謝学部門 岡本まとか

7 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学薬学部臨床薬学講座臨床栄養代謝学部門

氏名：岡本まとか

住所：〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8408